

Antimicrobial stewardship 活動の評価 —広域抗菌薬使用量と緑膿菌の抗菌薬感受性率について—

1. 研究の対象

2011年1月から2018年12月までに当院で注射抗菌薬の投与を受けられた方。

2. 研究目的・方法

<目的>

薬剤耐性菌の増加は世界的な問題であり、医療現場においては抗菌薬の適正使用が重要な鍵となります。抗菌薬適正使用推進の活動として、当院では広域抗菌薬適正使用への antimicrobial stewardship (AS) 活動を2011年8月より開始しています。この活動による広域抗菌薬の使用量の変化と緑膿菌の抗菌薬感受性率の変化について関連性を検討します。

<方法>

研究対象期間中に当院に入院し、注射抗菌薬を使用した患者を対象とします。電子カルテの実施データから、年毎の各抗菌薬の使用日数 (days of therapy : DOT) を調査します。また、細菌培養検査データより緑膿菌の各抗菌薬への感受性率の推移を調査し、抗菌薬使用日数との関連性を検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

投与された注射抗菌薬の薬剤名、投与量、投与日数。
緑膿菌の各抗菌薬における感受性率。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

問い合わせ先

済生会熊本病院 電話：096-351-8000 (代表)

当院研究担当者：TQM 部感染管理室 九万田 由貴江

以上